

つりなどでストリートダンスを披露しています。昨年9月の東京国体では調布の味の素スタジアムで行われた開会式や、市民体育館でのバレーボール会場でも踊りました。またダンス・イン・イングリッシュと言つて、英語の歌に合わせて踊る教室も開いています。すべて英語で、楽しみながら勉強します。英語が好きになってくれるのが目的です。

高橋さん 夏と新春には、地元の音楽家や落語の師匠にお願いしてのコンサートや高座を開いています。年に2回行っているバスで行く課外講座はキャンセル待ちが出るほどの人気です。

仲間がもっと増えたら

石川さん 私は87歳ですが、狛江百選の写真にも数多く採用してもらっています。講義は木曜日の午後で勤めて



石川英夫さん

ます。講義は木曜日の午後で勤めて



高橋公子さん

す。展示会場で募集はしているのですが。

望月さん 私たちも今年はずっと生徒を増やしたいものです。ダンスを見て参加する方が主です。夢は2020年の東京オリンピック開会式でヒップホップダンスを披露することです。

高橋さん 私たちはもっと若い方に聞いていただけたらと努力しているのですが。月2回配られる市の広報紙に講座開催の案内が掲載されていますが、新聞を取っていない方には配られないなどなかなか広報が徹底しません。若い人はネットが中心なのででしょうか。

三角館長 ありがとうございます。公民館としては、より皆様の活動を支援できますよう努力していききたいと考えています。

公民館からのお知らせ

【いべんと西河原・中央公民館のつどいを開催します】

※第26回いべんと西河原

2月21日(土) 22日(日) 28日(土)

3月1日(日)の4日間。

※第30回中央公民館のつどい

3月4日(水) 5日(木) 6日(金)

7日(土) 8日(日)の5日間。

公民館で活動している団体が日頃の練習や勉強の成果を発表するこれらの催しは、いべんと西河原が8団体、中央公民館のつどいが80団体と、今年も多くの団体が参加し、歌や踊り、展示から販売、体験コーナーまでバラエティに富んだプログラムで盛り上げていきます。

中央公民館のつどいでは、実行委員会が取り組む事業として、公民館についての理解を深めるための学習会も行う予定です。

会員を募集している団体も多くあります。新しい趣味を探す場としてもお楽しみください。

皆様のご来場をお待ちしています。



「地域で見守る」シリーズ!

子どもたちのほっとスポット 「駄菓子屋さん」

岩戸児童センター近くの「たかの商店」さんをお訪ねしました。ご主人が祖師谷の青果店から独立して、狛江で開店されて50年、(今の場所は40年)子どもたちに人気の駄菓子屋さんです。

「たかのさん」の一日

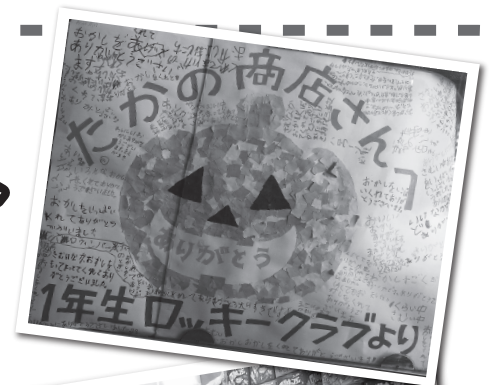


朝8時前、週のうち数日は、お店前の通りで登校する子どもたちを見守ります。午後の下校時刻になると、帰りがけに顔見せていく子、帰宅してやって来る子でお店は賑やかになります。多くは小学生高学年と中学一年生で、イスが用意された子どもコーナーで、仲間とお菓子を食べたりゲームをして過ごしていきます。

年中無休のほっとスポット



平日子どもたちは習い事の合間や待ち合わせ、児童センターへの行き帰りに寄っていきます。土日となると、朝からお店が開くのを待っている子もいて、いつのまにか年中無休になったそうです。体調を悪くしたお子さんがお母さんに、「たかの」に行きたいと言ったと聞いた時は本当にうれしかったとのこと。



お店を継いだ息子さんも子どもたちの良き相談相手。子どもたちと多摩川に遊びにいたり、買い物につきあったり、何も言わずにそばにいてだけで頼られる存在です。子どもたちとメールアドレスの交換もしているので、塾を休んだお子さんが来てないかと親御さんから問い合わせのメールが来たり、児童センターの職員さんと子どもたちの様子など情報交換もするそう。自分からはしゃべらない今の子どもたちに、挨拶しようと思っかけて、友達に簡単におごるんじゃないよと注意しながら、温かく見守っておられます。昔ながらの駄菓子屋さんが、子どもたちにとってはくつろげる一味違った居場所となっているようです。

(編集委員/周東・青木)

わたしが**担当**です

中央公民館 矢野裕之係長

昨年10月に公民館に着任しました。公民館事業では主に「こまえ市民大学」を担当しています。窓口では面識のある方に声をかけていただくこともありますが、公民館を利用している多くの皆さんにとっては新顔ですので、今後ともよろしくお願ひします。



矢野裕之係長

事務の合間を見ては館内をぐるりと巡り、施設のチェックがてら皆さんが様々に活動する様子を見たり聞いたりしています。ときには公民館事業の講師をお願いすることもあり、公民館は狛江市が進める「市民参加と市民協働によるまちづくり」の大きな拠点の一つだと感じています。

年季の入った公民館ではありませんが、今後もよりよいサービスを提供できるように頑張ります!

公民館だより

第3回定例会議 9月1日 中央公民館

主要報告事項

- ・市民センター改修説明会での様子及び今後の進め方
- ・教育振興基本計画改訂について
- ・次年度の公民館事業方針について
- ・主要審議事項
- ・施設予約（調整方式）について
- ・継続審議中、参考として他市の現状調査を報告し討議

東京都公民館連絡協議会 公民館の活性化―第2回研修会

「関係機関・団体との連携を通じた地域での人間関係作り」

11月22日福生市公民館

公民館での活動は、地域の団体といかに結びつくかが一つのポイントです。

長野県飯田市は分館を基礎にした公民館活動が活発で、地域に昔からある団体（自治会、壮年団、PTA、消防団など）が分館を拠点として様々な活動をおこなっています。すでに存在する団体を基

第4回定例会議 11月10日 中央公民館

主要報告事項

- ・教育振興基本計画改訂の進捗
- ・公運審委員の任期及び次期委員の募集について
- ・都公民館連絡協議会対応について
- ・主要審議項目
- ・施設予約（調整方式）について
- ・これまでの審議経過を再確認、草案を作成し次回までに配布、今年度中に意見書としてまとめる

礎にする例です。

大分県佐伯市の場合は、これまでの地縁団体の弱体化に対応して「学校支援」というテーマで既存の団体を結びつけていく事で人間関係が活性化され、新たな取組みを促しています。

渋谷区は、地域の自治体、企業とNPOが協力して、ユニークな講座を組織することによって、若者の参画を得る事も可能となり、生涯学習から町づくりへの新たな回路を開いています。

柏市の場合は孤立しがちな高齢

者に対して「趣味」を縁にしたグループを組織していく方法です。

連携するには、一定のコスト（時間、労力、調整コスト）がかかるので、何のために連携するのか、連携して目指すものは何かを共有する機会が必要というお話でした。

狛江の場合、利用団体が単なる会場使用者ではなく、公民館の構成メンバーとして、利用者連絡会などを作り、地域での人間関係作りにも関わっていくような取組みが必要だと思いました。

（周東三和子）

公民館から「若者が公民館に来ない」「地域の課題の掘り起しはどうすれば?」「外部の方や地域の方との連携の仕方は?」などの質問があげられました。その中で、いくつかの事例の取り組みが紹介され、特に柏市豊四季台のくるるセミナーが勉強になりました。くるるとは聞く・見る・するの略、生涯学習を通じて住民の方々の間に繋がりを作り、その後の地域でのグループ活動につなげることを目的に実施している講座事業です。年3期

の内2期では5講座7セミナーを実施「楽しく学び、仲間作り」「学んだことを継続したい」「成果をみんなに伝えたい」を目指す中で、いくつかの講座に基くグループの結成が見えてきました。例として、ウォーキングセミナーから歩こう会へ、防災セミナーから地域のまち歩きサークルへ、歌声喫茶とストレッチダンスから100人合唱団へなどです。地域の方々の「趣味」を縁にしたグループを組織していくことで公民館の活性化につながっている事例でした。

他にも飯田市では、通学合宿の取り組みで「子ども達が育てやすい地域」をテーマに保護者世代のニーズを汲み取った事業を行っていること。佐伯市では、これまでの地域の地縁団体の弱体化に対応して「学校支援」をテーマに人間関係の再構築を進めていること。渋谷区におけるシブヤ大学は、学びを通じて「つながる」ことで若者の参加の動機付けにしていることなどが話されました。

（長谷川まゆみ）